

令和2年度 第1回伊勢原市環境対策審議会 会議録

〔事務局〕 環境対策課

〔開催日時〕 令和2年11月12日（木曜日）午前10時から11時まで

〔開催場所〕 伊勢原市役所 2階 2C会議室

〔出席者〕

（委員）小川委員（会長）、武藏委員（副会長）、村井委員、高橋委員、宮垣委員、
濱田委員、定永委員、栢沼委員、十鳥委員、森本委員

（事務局）辻経済環境部長、細野環境対策課長 外2名

〔公開可否〕 公開

〔傍聴者数〕 0人

〔審議の経過〕

1 開会

2 部長あいさつ

3 議題

（1）第二次伊勢原市環境基本計画 令和元年度報告について

事務局より第二次伊勢原市環境基本計画 令和元年度の目標達成状況について説明の上、進捗状況等について審議された。

（2）その他

事務局より国民運動「COOL CHOICE（クールチョイス）」普及啓発事業に取り組んでいることが報告された。

【意見等】

（委員）いせはらの環境の1ページ目に記載の人口と世帯について、令和元年度に人口が減っているのに世帯が増えているのはどういうことか。

（事務局）人口と世帯については、市の統計情報を使用している。大きな世帯が減って、1人世帯が増えているのではないか。

（委員）具体的な目標22について、市街化区域面積の増加により目標達成が困難との説明であったが、それに伴う目標の見直しは検討しているのか。

また、具体的な目標17について、「本分野の重点事業」の令和元年度の取組状況が、荒廃農地対策の記載になっていない。

（事務局）具体的な目標22については、緑の基本計画と整合をとりながら目標数値の見直しを検討していきたい。

具体的な目標17については、担当課に再度確認の上、修正する。

（委員）状況に応じた目標数値の見直しは必要と考えるが、計画当初に立てた目標が達成

できなかった理由についてはしっかり分析する必要がある。

広域幹線道路やインターチェンジの整備に伴い、周辺の緑被率や公園面積が増えていく見込みがあるなら、その内容や数値をはっきりさせて頂きたい。

マイクロプラスチックと食品ロスへの対応について、市の取組状況はいかがか。

(事務局) マイクロプラスチックについては、今年の7月からレジ袋の有料化が始まっているのは御存じのことかと思う。以前より、伊勢原市はレジ袋を含めた容器包装プラスチックの分別を進めてきた。マイクロプラスチック対策は不法投棄の対策にも繋がると考えている。

食品ロスについては、道灌まつり内で啓発の活動を実施している。制度としてはまだ成熟していないが、情報を集めながら進めている状況である。

(委員) マイクロプラスチックは世界的な問題であり、根本的な解決は困難であると思うが、市としての新しい取組についても検討してもらいたい。

木質系粗大ごみの資源化とはどのような内容なのか。

(事務局) 新たなリサイクルの取組として今年の11月から始めている。せん定枝等、資源化が可能なものを別に回収することで、燃やすごみの減量化に繋げている。

(委員) ごみの出し方について、何が資源になるのか周知が不足しているように感じる。

各戸への案内を、もっと分かりやすい内容にする必要がある。

(事務局) 広報やホームページで周知しているが、まだまだ不足しているという認識はある。今後、分別の手引きをリニューアルし、全戸配布をしたいと考えている。

(委員) キョウチクトウは資源化の対象外だったと記憶している。キョウチクトウについて知らない人が多い。分別の方法等についてもっと周知をする必要がある。

(事務局) 必要に応じて周知をしていきたい。

(委員) せん定枝はどこにどのような形で持ち込めば資源化できるのか。

(事務局) 連絡をもらえれば市職員が回収に伺う。持ち込む場合は環境美化センターに事前に連絡をして欲しい。

(委員) 年次報告書35ページの取組の柱「森林組合の取組を技術面、財政面において支援するとともに、労働者の雇用体制の整備や福利厚生面の充実を図ります。」について、取組内容の記載がリンクしていないと思う。「事業費を使用して、森林組合の基盤を支援する」といった内容なら関連がある。

(事務局) 担当課に確認済の内容だが、改めて確認の上修正する。

(委員) 電気自動車はイベント展示や広報誌でPRをしているということだが、災害時も活用できることをもっとPRするのではないかと。また、県内の工業製品に使用できるかもめクーポンというものがあるので、電気自動車の普及に役立てて頂きたい。

(委員) 現在、公用車の電気自動車は何台あり、今後増やしていく計画はあるのか。また、急速充電器は市内に何施設あるのか。

(事務局) 現在、公用車の電気自動車は2台である。今後施設管理と調整しながら増台を検討する。

市内の急速充電施設は16か所あり、うち2施設を市で管理している。

(委員) 財政的な問題もあると思うが、是非率先して電気自動車を導入してもらいたい。

環境学習について、コロナウィルスの影響で回数が減少していくと思うが、大人向けの開催について今後どのように考えているのか。

(事務局) 環境学習は、環境学習指導員の派遣を中心に開催しているが、コロナウィルスの関係で現状は休止をしている。同じやり方では難しいと認識しているので、来年度以降の具体的な内容について現在検討をしている。

(委員) 環境学習は実際に自然と触れ合い、体を使うことが大切である。父兄の方がほとんど環境について知らないということがあるので、大人向けの自然観察の会はもっと増やしてもいいと思う。伊勢原は自然や農作物が多いので、少し探せば環境学習の場はたくさん見つかる。

(委員) ごみの処理方法について、各戸に回覧されたものについては良く内容を確認して欲しい。今日あった質問の答えもそこに記載されている。

5 閉会